

令和3年12月13日

産業厚生委員会記録

阿久根市議会

1. 日 時 令和3年12月13日(月) 13時00分開会
14時47分散会

2. 場 所 第1委員会室

3. 出席委員 白石純一委員長、中面幸人副委員長、
川上洋一委員、竹原信一委員、木下孝行委員、
山田勝委員、濱崎國治委員

4. 事務局職員 議事係主任 松崎 正幸

5. 説明員 福祉課
課長 佐潟 進 君 課長補佐 前田 敏 君

商工観光課
課長 尾塚 禎久 君 課長補佐 大野 裕人 君

都市建設課
課長 石澤 正志 君 課長補佐 松下 直樹 君
課長補佐 松山 直人 君 係長 宮路 隆博 君

6. 会議に付した事件

- (1) 議案第48号 阿久根市子ども発達支援センターこじかの指定管理者の指定について
- (2) 議案第49号 道の駅阿久根観光物産館の指定管理者の指定について
- (3) 議案第50号 番所丘公園の指定管理者の指定について
- (4) 所管事務調査について

7. 議事の経過概要 別紙のとおり

白石純一委員長

ただいまから、産業厚生委員会を開会いたします。

先日の委員会で請求した資料が出そろいましたのでモアノートに登録してあります。資料が多いため、30分ほど目を通す時間を取りたいと思います。

暫時休憩します。

(休憩 13時01分～13時30分)

○議案第48号、阿久根市子ども発達支援センターこじかの指定管理者の指定について

白石純一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

それでは、議案第48号を議題とし審査に入ります。

執行部の出席をお願いします。

(福祉課入室)

福祉課に出席いただきました。

資料を御覧いただいたの質疑をお願いします。質疑のある方いらっしゃいますか。

なければ、私からいいですか。

資料の委員会議事概要の中で、選定委員の方々が、委員長ほか5名おられます。最後の2名は行政の方ですけれども、そのほか3名の委員のお立場を教えてください。

佐潟福祉課長

初めに、中釜和幸さんにつきましては、出水養護学校の校長先生であります。

それから、渡辺豊治さんについては、阿久根市手をつなぐ育成会連絡協議会会長であります。

それから、輿水知子さんについては、認定こども園阿久根めぐみ園副園長ということで、3名とも障害児保育の実績、それから療育に知見がある方を選定してあります。

白石純一委員長

ありがとうございます。

ほかに委員の皆様から質疑はありますか。

木下孝行委員

採点表一覧を見たときに、5番目の「個人情報保護及び防犯・防災等緊急時の対応計画は妥当か」という項目の中で、特に危機管理、②の項目の「危機管理体制などが十分考えられているか」というところの点数が、3点並びに4点、ほぼ3点が多いのですけれども、特段3点であればいいのだろうとは思うのですけれども、5点に近づけるようなことを評価の中で、各委員の中からそういった意見はあったのかなかったのか。それから、行政のほうにも、こういったことはしっかりと点数がもう少し上がって、5点に近くなるような

努力をしていただくような話はしてあるのかなのか、教えてください。

佐潟福祉課長

この防犯・防災対策、そういう危機管理体制等につきましては、評価点数3については、「普通」ということで、それ以上の対策等々を取ってらっしゃる場合が4とか5という形になっていますけれども、一般的な防災体制につきましては「普通」ということになっております。また、このこじかの施設については、市が直営というか、管理責任をしております。あわせて、折口地区の避難所としても指定されていますので、そういう防災体制については、通常分の体制は取れているというふうに思っております。以上です。

木下孝行委員

十分理解できるんですけど、やはり事業者のほうにも、また、行政のほうも連携して、5点に近づくような危機管理体制をつくっていかうという、前向きなことを考えていかなければいけないのではないかと思います。3点は「普通」という評価だから、普通でいいんですというのもよく分かるんですけど、せっかくならもう少しこう好評できるような、そういった運営を心がけてもらうように、行政のほうもお願いしとったほうがいいんじゃないかということです。以上です。

中面幸人委員

選定要綱の応募資格についてお聞きしたいのですが、今まで委託を受けている青陵会につきましては、いろんなノウハウを持って、素晴らしい事業者と聞いており、また、外部の評価もよいと聞いておりますけれども、この応募資格の中の、「市内に主たる事業所を置く社会福祉法人」となると、ある程度限られてくるというふうに私は思うんですが、ここはこういう形でないといけないんですか。今の青陵会が悪いと言うのではないですよ。今まで聞くとところによれば、すごく評価もいいんですけど、応募資格を見れば、阿久根市内に事業所を置くとすれば、もう限られてきますよね。いっぱいあるわけじゃないわけだから。だから、こういう形でないといけないのかなって思うんですが、例えば市外の方というのは全然応募できないわけですよ。

佐潟福祉課長

今回というか、前回についても同様ですけれども、市内の社会福祉法人に限るということにつきましては、この施設の目的等々についても、障害児の専門的な療育の施設であります。この青陵会に限らず、市内にはもう1か所、そういう療育の施設もありますけれども、はっきり言いまして、職員が手いっぱいです。さらに市外に広げた場合についても、こういう療育の施設はかなり多くなってきています。ですから、職員の確保とか、そういった部分からいきますと、既存でそういう職員を育成しているところということでもあります。また、あわせて市内の事業者を育成するという観点からも、市内の社会福祉法人ということに限っているところでございます。以上です。

白石純一委員長

ちょっと休憩します。

(休憩 13時41分～13時42分)

白石純一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

私から1点、お願いします。

木下委員から質問があったことに関連なんですけれども、確かに防災については、市の避難所ということもあって、しっかりとされているとは思いますが、防犯についても少し教えてください。

佐潟福祉課長

防犯ということについては、機械警備も入れていますし、通常はそこに配置している職員、園長等が管理者として、防犯も含めて対応しています。ただ、先般、不審者とか、そういう事例が出てきていますので、毎月、ちょっと今年はコロナ禍で頻繁にはできなかったのですが、避難訓練とか、毎月1回意見交換会をやっていますので、保護者も含めて、そういう意識啓蒙の協議はしているところです。

白石純一委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、議案第48号の審査を一時中止します。

(福祉課退室)

○議案第49号、道の駅阿久根観光物産館の指定管理者の指定について

白石純一委員長

次に、議案第49号の審査に入ります。

執行部の入室をお願いします。

(商工観光課入室)

商工観光課に出席いただきました。

資料をもとに質疑のある方はいらっしゃいますか。

木下孝行委員

採点一覧表の中で、1番目の「運営管理する適性があるか」という項目の3番目、「経営（収支）が安定しているか」について、5点満点の中でオール3、悪くもなくよくもない、普通という評価なんだけど、この前の収支の報告にもあったみたいに、初年度が370万の赤字、令和2年度が380万ぐらいの一応黒字であるという中で、ここについて選定委員の中からどんな意見が出たのか、それとも何も意見はなかったのでしょうか。

尾塚商工観光課長

ただいまの木下議員の御質問にお答えしますが、選定会議の中では、収支状況についての質問等は特になかったところです。

木下孝行委員

指定管理者がしっかりした運営・経営ができていないのか、できていないかというのはや

っぱり大事なところだと思うので、3が普通だからいいというわけじゃ、私は決してないと思うんですね。やっぱり4から5、できれば黒字経営をしてもらいたいというのが我々の願いであるわけで、指定管理が決まったらしっかりと経営の黒字化に努力していただくように、所管課のほうからも、こうして委員会からそういう意見があったということをしかりと伝えてください。以上です。

中面幸人委員

指定管理の申請書一式の中で、収支予算書を見ているんですが、何年か分の予算書が載っておりますけれども、1億以上の売上げ、それに対する支出という形になっているんですが、阿久根市の物産等の業者の活性化のためにも、大分この道の駅は寄与していると思っていますよね。例えば直売場の売上げの委託、実際には食堂の売上げとかありますけれども、この売上げ比率というのはどのようなものですか。分かりますか。

〔発言する者あり〕

比率は、例えば、特産品なんかの委託してるやつと、食堂なんかの比率はどういうものですか。

尾塚商工観光課長

ただいまの中面委員の御質問ですけれども、そこまで細かい把握はしていないところで

す。

中面幸人委員

私が言うのは、阿久根でああいう特性品の物販するところと言え、あそこぐらいですよ。その中でやっぱり、この委託している直売所の売上げを上げるための努力というのが大事だと思うんですね。そのためにはどういうことを計画しているのかということはお聞きにならなかったでしょうか。例えば、委託の直売所の売上げを上げるためにどういった努力をするのかということ。

尾塚商工観光課長

選定委員会の中で出た、そういう物産品等の質疑については、諸売店の中で1番売れているものは何かとか、職員研修とか、現在の道の駅としての情報発信が弱いので、物産販売も含めて来年度どういうふうを考えているのかとか、店内のアンケートボックスにはどのような意見があるのかとか、そういう意見が出たところです。あと、要望としまして、直売店として消費者ニーズが必ずあるので、ロングラン商品を育ててほしい、営業時間の見直しをしてほしいというような、質疑・要望等が出たところです。

中面幸人委員

この間、先週の火曜日、牛ノ浜駅にJRの36プラスという列車が来ますよね。そこに私もちょっと、初めて行ってみたんですが、降りて来られるお客さんをみんなでお迎えするんですが、そのお客さんから、阿久根でうまいものは何ですかと聞かれたんです。でも、何がおいしいですよと、私は言えなかったんですね。ある人は、何かボンタンのことは話をされましたけれども、その辺をちょっと、やはり研究すべきじゃないかと。初めて阿久根に来られる方は、やっぱりそこの名物とかおいしいものとかいうのを尋ねられると思うんですね。そういったときに、何かあるのかっていう、その辺で何かやっぱり、売れ筋も出てくるのかなと思いますので、私もよく分かりませんが、その辺をきちっと研究すべきじゃないかなというように、この間感じました。

尾塚商工観光課長

ただいま中面委員の御質問ですけど、現在毎週火曜日ではなくて、毎週木曜日の2時20分から15分程度、JRの36プラス3が牛ノ浜駅に停車して、おもてなし活動をしているところです。その中で、お客さんに観光パンフ等も入った案内書を配付しているところです。

これとは別に、11月から、またJRの観光列車のななつ星、これが朝8時から約50分程度、牛ノ浜駅に停車しております。その中で、まちの灯台の道の駅の商品販売をしているところです。この商品案内が結構人気があって、ななつ星に乗車するお客さんがある程度富裕層ということで、そういう方をターゲットにして道の駅の商品等の販売を行って、毎週毎週、かなりの売上げが出ているところです。

今後も、そのようにして、機会を見て、道の駅だけではなくて、阿久根市の特産品の販売拡大、広報等には努めていきたいと考えているところです。

濱崎國治委員

観光物産館尾の採点一覧を見てみますと、AさんとDさんが20点も違うんですね。中身を見てみますと、「管理運営に必要な職員の採用・配置の計画は妥当か」という項目で、Aさん3、ところがDさんは5なんですね。片や普通で、片や特にすぐれていると。それから、「指定管理業務に関する専門的知識や資格、経験を十分有しているか」の項目では、Aさん3、Dさんは5ということで、3と4とか4と5なら分かるんですけども、普通と特に優れているで、何か意見が対立じゃないんですけども、えらい考え方が違うなという気がするんですけども、この辺について、課長はどうお考えですか。

尾塚商工観光課長

6名の採点委員についての詳細というのは、それぞれの考えであって、詳しいことは把握してないところです。今回の選定委員会では、外部委員として3名、庁内の内部委員が3名、計6名で採点をしていただいたところですので、その辺の、外部から見た考えと、内部から見た考えなのか、その辺も定かではありませんが、ちょっと詳細は把握してないところです。

濱崎國治委員

ちなみにAさんは外部ですか。

尾塚商工観光課長

すいません。採点者のABCDEについて、外部委員の庁内委員の区別は、商工観光課で分からないところです。この資料につきましては、企画調整課のほうで作成してありますので。

濱崎國治委員

さっきも言ったとおり、3と5で、専門的知識、資格経験を十分に有するについては、一方の人は普通ですよ、一方の人は優れていますよと、極端な差が出ているもんですから。また、合計点に20点も差がついて、評価がこんなに分かれるというのはどうなのかなというのを、課長に聞きたいということで申し上げたところです。

尾塚商工観光課長

繰り返しになりますが、そこの詳しい考えというのはちょっと分からないところです。

濱崎國治委員

どういうことが考えられますか。

〔発言する者あり〕

尾塚商工観光課長

すみません。それぞれの考えですので、どういう考えで採点されたかについては、ちょっとそこまでは分からないところです。

濱崎國治委員

それぞれの考えがこんなに違うからどうですかっていう話を申し上げたんです。

白石純一委員長

すみません、今の関連で私から。

外部委員の方の肩書をお教えてください。

尾塚商工観光課長

奈良迫秀光さんは、FRY&STAYツーリズム鹿児島の主催者です。

本田静さんは、株式会社宙の駅代表取締役。

寺地和彦さんは、阿久根商工会議所専務理事でございます。

白石純一委員長

奈良迫さんと本田さんについては肩書を言われましたけど、それではどういう方なのかがちよっと分かりにくいので、バックグラウンドも分かれば教えてください。

尾塚商工観光課長

まず奈良迫さんを委員として選定した理由であります。鹿児島県観光プロデューサーを9年間務め、これまで県内の様々な観光振興の施策に携わるなど、観光分野における幅広い識見と高いノウハウを有していらっしゃる方です。また、当該施設への指定管理者導入の初年度に係る選定委員会の委員であり、さらに、当該道の駅の運営検証有識者会議の委員としてこれまで、適切な評価・助言等をいただいているところで、今回、選定委員としてお願いしたところです。

もう1人の本田静さんであります。本田さんにつきましては、株式会社宙の駅の代表取締役や、鹿児島県着地型観光推進協議会の会長として、県内各地において、自然や文化などの地域資源を生かした観光イベントの開催や、観光コンサル事業に携わるなど、地域密着型の観光地づくりにおいて、多くの実績と高いノウハウを有している方です。また、道の駅への指定管理者導入初年度に係る選定委員会の委員であり、さらに、道の駅の運営検証有識者会議の委員として、奈良迫さん同様、これまで、適切な評価及び助言をいただいているところであり、今回、両氏に選定委員の任をお願いしたところであります。

白石純一委員長

ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、議案第49号の審査を一時中止します。

(商工観光課退室)

休憩に入ります。

(休憩 14時04分～14時14分)

○議案第50号、番所丘公園の指定管理者の指定について

白石純一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

次に、議案第50号を議案といたします。

執行部の入室をお願いします。

(都市建設課入室)

都市建設課に出席をいただきました。

資料に基づき、質疑のある方はお願いします。

中面幸人委員

昔の番所丘公園で、例えばグラウンドゴルフだけを、いろんな地域のグラウンドゴルフをする人たちを呼び込んでやっていた人がいましたよね。分かるかな。私が思うのは、今は全体をひとくくりにしてやっていますよね。番所丘公園全体をひとくくりにして指定管理をしているんですが、例えばグラウンドゴルフのエリアとか、何かそれぞれのエリアをつくって、エリアごとに分割した運営というのは、もうできないものだろうかと思って。ですね。

石澤都市建設課長

今、委員から出た分割したというお話なんですけれども、分割することによりまして、共通経費等が増えてくるということもございますので、そこはやっぱり、番所丘公園という一つのエリアとして、指定管理を行っていくことがいいのかなというふうに思っております。

白石純一委員長

私からすみません。

議事概要にございます、選定委員会の外部委員の方のお立場をそれぞれ教えてください。

石澤都市建設課長

外部委員の選定の内訳でございますが、川原修一様は、さわやかクラブの副会長さんでございます。この方につきましては、高齢者の利用者の立場から番所丘公園の管理状況についての意見を伺いたいということで選定いたしております。

輿水基様は、幼稚園の経営をされております。この方につきましては、子供育成世代の利用者の立場からということで、番所丘公園の運営状況等について意見を伺いたいということで選定いたしております。

松元安秀様は、園内の草木管理等について専門的見地からの意見を伺うために、委員として選定いたしております。以上でございます。

白石純一委員長

そういう専門の職業の方ということでよろしいですか。

石澤都市建設課長

そのとおりでございます。

白石純一委員長

ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、議案第50号の審査を一時中止します。

(都市建設課退室)

〔発言する者あり〕

休憩に入ります。

(休憩 14時21分～14時26分)

○現地調査について

白石純一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

以上で所管課への質疑が終わりましたが、現地調査について委員の意見を伺います。

中面幸人委員

皆さんのいろんな意見を聞きました。ただ執行部が上げたものもいいか悪いかという判断だけだということですので、別に現場を見なくてもいいと思います。

白石純一委員長

ほかに御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、現地調査は、議案第48、49、50号全てについて行わないということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

○採決（議案第48号、49号、50号）

白石純一委員長

それでは、採決に移ります。

議案第48号を議題とし、採決を行います。

各委員から何か意見はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討議は必要ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ討論を終結いたします。

これより議案第48号、阿久根市子ども発達支援センターこじかの指定管理者の指定についてを採決いたします。

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第49号を議題とし、採決を行います。

各委員から意見はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討議は必要ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ討論を終結いたします。

これより議案第49号、道の駅阿久根観光物産館の指定管理者の指定についてを採決いたします。

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第50号を議題とし採決を行います。

各委員から意見はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討議は必要ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ討論を終結いたします。

これより、議案第50号、番所丘公園の指定管理者の指定についてを採決いたします。

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めますよって本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件は全て議了しました。

ただいま議決されました案件に対する委員会審査報告書の作成及び委員長報告につきましては委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、ただいま議決されました案件に対する委員会審査報告書の作成及び委員長報告につきましては委員長に一任されました。

次に、本委員会の審査内容等の報告を2月発行予定の市議会だよりに掲載予定であります。この内容について、委員の皆さんからの御意見等ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは原稿の記載及び提出については委員長に御一任願いたいと思いますがこれに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、本委員会の審査内容等の原稿記載及び提出につきましては委員長に一任されました。

○所管事務調査について

白石純一委員長

次に、所管事務調査を議題といたします。

前回の委員会で、視察候補地について意見を出していただきましたが、モアノートの産業厚生委員会フォルダ、所管事務調査一覧（R3.12.13）の資料にまとめてありますので、参考にしてください。

暫時、休憩します。

（休憩 14時33分～14時46分）

白石純一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

委員の皆様から出していただきました所管事務調査の候補地につきましては、1、徳島県神山町・徳島県上勝町。2、若手農家後継者の成功事例、具体的な場所はありません。3、香川県高松市の仏生山温泉。4、福岡県宗像市の道の駅むなかた。5、宮崎県えびの市の温泉を利用したフグの養殖。6、大分県国東市の大分うにファーム。7、熊本県上天草市の松島港の開発。8、青森県のログスターのようなエビの養殖。この中から各自が3か所程度回れるところに候補地を絞って、ラインで事務局宛てに送っていただき、それをもとに委員会を開催するという進め方で御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決めます。

ほかに何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で、産業厚生委員会を散会いたします。

（散会 14時47分）

産業厚生委員会委員長 白石純一